

編集後記

連日とても暑い日が続いておりますが、皆様どのようにお過ごしでしょうか。災害レベルの暑さと言われるほど今年の気温はハンパないようです。熊谷市で41.1度の国内最高記録が更新されたニュースに不安が募ります。

「誌上ギャラリー」には平田宗興先生より「鹿児島錦江湾6m電波望遠鏡」の写真をいただきました。見たことはありましたが、このような偉大な業績を残していたとは・・・

「論説と話題」には長友由紀子先生に第14回男女共同参画フォーラムについて報告いただきました。

「縁陰銷夏」には多くの先生方にご寄稿いただきました。ありがとうございます。小田原淳子先生からは87歳おばあちゃんの北海道から鹿児島へ車の一人旅の心温まるお話。平原梢香先生からは2人の子供たちのほのぼのとした様子、「西郷どん」に関連した身近な鹿児島の歴史について。有村義輝先生からは「医療法・臨検法改正における検体検査の精度管理のあり方について」教えていただきました。馬原文雄前鹿児島市医師会事務局長からは大怪我から復活までの苦労、現在の政治に対する思いを綴っていました。中園豊明鹿児島市消防局長からは鹿児島市の消防システムについて教えていただきました。いつも鹿児島市の安全を守っていただきありがとうございます。林敏雄先生から闘病中に経験された「臨死体験」をいただきました。森山一郎先生からは山口萩往還140キロ走にチャレンジされた際の心の動きを表現していました。明確な目標を持った人間は強いようです。三反田千代子先生からは健康に繋がる食について教えていただきました。「ハンパなくまんべんなく」がよろしいようです。松下敏夫先生には信州飯田の故郷自慢をしていただきました。叶内宏明先生からは留学中に経験されたグルテンフリーの食材、考え方について教えていただきました。武元良整先生には貧血治療における

ワンポイントアドバイスをいただきました。田畠千穂子先生からは新体制での看護協会の動向について詳細にお伝えいただきました。

「くすり一口メモ」は近年登場した注射用骨粗鬆症治療薬について解説していただきました。経口薬の欠点を補う部分があり期待できそうです。

「学術」には南風病院の古賀公明先生から慢性腰痛の病態 仙腸関節機能障害（骨盤帯痛）の発生機序について教えていただきました。それぞれの病態を随時、正確に捉えて適切な治療を施すことが重要とのことです。

「医師会病院だより」は大瀬克広先生より緩和ケア科の現状について、栄養管理室長の田中佐代子先生より栄養管理室の現状と取り組みについて紹介していただきました。

「切手が語る医学」には、今回も古庄先生からエジプトとリビアの偉人の切手を紹介していただきました。いつもありがとうございます。

小田原先生のシリーズ医療事故調査制度とその周辺(18)では医療事故調査制度に関する厚労省の省令・通知、その後の動きから制度見直しに至る経緯について詳細に報告していただきました。

「リレー隨筆」は鹿児島医療センター矢野えりな先生です。突然亡くなった愛猫ルードに対する家族の愛情が切なく綴られています。愛しい者の最期にどう立ち会えばよいのかということを考えさせられます。

災害レベルの暑さが続く中、小学校の校外実習で熱中症により亡くなるという痛ましい事故が起こってしまいました。ひと昔前の状況とは明らかに違います。いろいろ議論はあるようですが、学校にエアコンの設置を進めるなど、早急な対応が求められます。こどもたちに豊かな未来があることを切に願います。

(編集委員 今村 直人)